



フードバンクの助け合いが、希望のタネになる。 チャリティウォーク 60 開催！ ありがとうございました。

第11回チャリティウォークが、9/30、10/1、10/7の3日間開催されました。このイベントは、FB活動の周知と寄付集めを目的に、栃木県内6つのFBが合同でつくりあげるイベントです。FBうつのみやも寄付先団体として実行委員会に参画しました。ご寄付や事前・当日もたくさんのボランティアの皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました！

フードバンク活動は、そのほとんどがボランティアの力であり、活動資金は「寄付」によって支えられています。FBうつのみやのほかにも、FB県北、日光、さくら、もおか、さくらんぼ(NPO法人希望のタネ)が参加し、寄付や協力を呼びかけました。地域は違えど、同じ志でボランティアに活動する皆さんには励まされました。読者の皆さんもぜひ、各地のFBの活動に関心を寄せていただければ嬉しいです。

FBうつのみやとしては、宇都宮でのフードバンクの周知を広げられるよう、『宇都宮 LRT コース』に初チャレンジしました。19.5km歩き切った皆さんの笑顔は何にも代えがたいものでした。

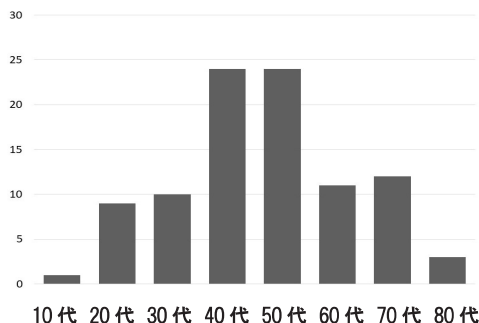
チャリティウォークは歩くだけでなく、自らが寄付を集め、食品を寄贈することが参加条件です。なかなかハードルが高く感じるかもしれませんが、「毎年の恒例だから!」と参加するベテランや「FB活動を応援するいいイベントだと思った」と初参加してくれた宇都宮大学生チームも。どのFBも世代交代が課題です。イベントでできたつながりを、食に困る人によりそう仲間として今後もつなげていきたいです。FBうつのみやもいつでもボランティア・寄付を募集しています。活動見学も大歓迎です。ぜひともに!(宮坂)

今月のSOS

FB 相談世帯数（食品提供回数）

8月 156世帯（支援223回）
9月 208世帯（支援280回）

FB年代別（2023/8-9）新規利用92人



FB 主な利用理由（2023/8-9）*複数回答

金銭管理 41	仕事探し・失業・就職	16	日々の生活（低年金）	16
	精神疾患・人間関係	9	病気・障害	6
			DV・離婚	2
			住居	1

今月のSOSの一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して抜粋掲載。

8/1 ● T.S 男 40代・宇都宮市内。
お金がなく切羽詰まって市役所や社協に電話したが、**すぐに助けてもらえるものはなく** FBを紹介された。3年前家が全焼。その影響で精神的に弱った。⇒米3kg食品7kg支援

8/2 ● A.K 女 40代・宇都宮市内。
障害者グループホームに入居。食事を頼むとお金がかかるので自炊しているが、お金がなく買い物に行けなかった。障害年金のみでの生活は苦しく、生保申請予定。⇒食品5kg支援。

8/3 ● K.M 男 20代・宇都宮市内。3ヶ月前に仕事を辞めた。貯金を取り崩して生活していたが、お金が尽きた。仕事を探しているが、自動車運転**免許持っていない**のでなかなか見つからない。⇒米3kg食品6kg支援。

8/4 ● Y.T 男 50代・宇都宮市内。
6月に離職。現在収入なし。**ライフラインもすべて止まり**困って生保の窓

口に行ったが、持ち家のため申請まで至らなかった。お金もなく食べ物もないとのことでFBを紹介された⇒調理不要の食品5kg支援。

8/18 ● Y.T 男 40代・宇都宮市内。
精神的に不安定な時は注意力散漫になりお金をどこかに置き忘れてしまう。**財布をよなくす**ので現金だけ持って出かけた結果、お金をどこに置いてきたか忘れてしまい困窮。⇒米3kg食品3kg支援

8/30 ● K.T 男 70代・宇都宮市内。
無年金。知人の会社で塗装の営業で月12万円稼いでいたが、最近はずっと**仕事がなく**なり困窮。生活保護の相談に行つてFBを紹介された。⇒米3kg食品4kg支援

9/1 ● D.T 男 20代・宇都宮市内。
住みこみの仕事を辞め、住居もお金もない。小さいころから施設で育ち友達も頼る人もいない。社協の協力で仕事の面接は受けたが、決まるのが4日後。それまでは**野宿**。⇒調理不要の食品4kg支援

9/6 ● T.T 男 80代以上・宇都宮市内。
夫婦で年金月15万円あるが、夫の圧迫骨折や妻の通院などで医療費がかさみ困窮。銀行にお金を借りに行ったが年齢で貸し

てもらえず、社協を紹介された。社協でも**支援の対象にならない**とのことでFBを紹介された。⇒米8kg食品7kg支援

9/15 ● K.M 男 70代・宇都宮市内。
認知症の妻が特養に入所することになり独居となる。借家だが自営の塗装業で50年生計を立ててきた。仕事の量も減っており8月は収入なし。9月には20万円くらい事業収入見込めるが妻の**介護サービス料**などの借金があり生活費に回せない。⇒米3kg食品6kg支援

9/19 ● Y.K 女 30代・宇都宮市内。
8月に夫と**離婚**し子ども4人と5人暮らし。養育費はもらえる予定だが9月末にしか入らないのでお金が無く、市の貸し付けの相談に行きFBを紹介された。⇒米15kg食品17kg支援

9/28 ● M.A 男 30代・宇都宮市内。
関西で暮らしていたが、**求人情報で宇都宮**に来た。仲介業者に言われるがままで来たので、右も左もわからない。仕事は10/2から、自動車製造の期間工。手持ち金がないので、仲介業者の手引きでFB来所。⇒食品8kg支援

SOSの途中 家族に次々と降りかかる災難。一步一步。

6 人家族奮闘記②

前回のあらすじ：6 人家族の長女・あいりさん（当時 23 歳）は、母親と兄の体調不良により、父と二人で家計を支えなくてはならなくなった。そのさなか、母親ががんになり…

■母親を看取ったその後

年が明け来所したときは、いろいろと話をしてくれた。3ヶ月弱の自宅療養の末、母親を家族全員で看取った。最後の1ヶ月は無料低額診療事業の適用だったとのこと。父は悲嘆もあり、睡眠剤の服用が増えた。兄は体調をみながら配達の仕事 시작했다。専門学校に通う次妹は学費免除を申請し、末妹は中学校で就学援助を受けている。あいりさん本人は婚約者がおり、妊娠7ヶ月（母親のことがあり結婚を延期していた）のため、家族の近くのアパートに2人生活を始めた。妹たちは「何か食べたい」とよく訪ねてくる。仲のよい姉妹である。

■自己都合退職を強要され…

家族の経済的困窮に加え、彼女も大きな問題を抱えていた。勤務していた保育園を、結婚を機に退職の意向を固めてはいた。しかし、新型コロナをきっかけに、園は事業縮小と人員削減

に直面し、自己都合退職を強要されている様子。現在は離職しているが、業務命令で休業した日も離職していると言われたり、退職日が明確にされず「退職証明書」「離職票」を発行され



小澤勇治 ● 本会職員

ていない。そのため、雇用保険基本手当の受給手続きが一切できない状況だった。栃木労働局または県庁労働相談を案内し解決の糸口を見つけ出してもらえらると相談を勧めた。

■ひとつひとつ解決に向けて進む

福祉資金貸付で賄っていた母親の医療費は、返済免除の手続きを行ったそうだ。困窮の改善についても、生活困窮者自立支援相談窓口を利用するよう勧めた。3月には「退職手続きが正式に出来た」と報告あり。栃木労働局の働きかけで、無駄な争いにならず解決の方向となった。父親の体調が思わしくないため、病院で精神保健福祉手帳の等級変更について相談し、障害厚生年金受給の可能性を確認しようとする。めた。

■出産、そして父の手術

7月に久々に来所したあいりさんは、5月に誕生した女兒を抱っこしていた。そしてまたひとつ難題を抱えたと話す。第1子出産した翌日に、父親がくも膜下出血を発症した。そして救急車で搬送され緊急手術を受けた。現在も入院中で、今日は水頭症の手術だったとのこと。今後の療養や生活については、病院のMSWへ相談をすることを勧めた。末妹が高校1年生ということもあり、ひとり親家庭医療費助成の対象であったので、利用可能であることを伝えた。医療費負担も軽減された。このように家族支援は、少しずつ変化しながらも続いていく。

FBでたすかりました

母の死。体調悪く、無収入。受診もできず…

「1人でどうかしなきゃ、という気持ちが楽に」

佐々木良子さん（仮名 39歳）

今年の3月、母が65歳で亡くなりました。このことでかなり落ち込み、仕事にも行けなくなりました。子どもが小さい頃に離婚して、必死にパートで勤めていましたが今回辞めることになり、無収入に。短大に通う娘も心配しています。

メンタルクリニックを受診したい気持ちはあるのですが、お金がなくてとても行けずいました。5社受けて採用されたところもあったけど続かず…。知人に教えてもらったフードバンクで食べ物もらい、無料低額診療についても案内されました。食べ物をたくさんいただき、病院の手配までしてもらえて、1人でどうかしなきゃと焦っていた気持ちが楽になりました。



自分の何かを変えてみませんか。

私は今年2月に宇都宮市に来ました。今現在、生活保護を受け助けていただいています。来た当初は生活に困っていて、FBという場所を教えてくださいとお世話になりました。本当に親身になって助けていただいたことを今も忘れません。その時にいらしたボランティアの方もとても親切でした。

その後色々迷惑もかけ、それでも助けてもらい、話を聞いていただいているうちにボラ

ンティアの一員として迎えてくださり有り難いと思っています。こんな私ではありますが、親切にしてもらいもう4ヶ月が過ぎました。自分の中で何かが変わってきていると感じています。

今の世の中生きていくことは大変なことだと思います。それでも、家族のため、子どものため、何より自分のためにもう一歩進みませんか。私もそうなりたい、とボランティアを続けて

いきたいと思っています。

もしお時間に余裕ができましたならば、10分でもいいので一緒に笑いながら自分の何かを変えてみませんか。



前年比 1.27 倍の相談件数。食品寄付をお願いします。



さまざまな理由で困窮し、満足に食品を購入できない人がいます。フードバンクうつつのみやにも、食料支援を求めて多くの方が来所されています。

8月末までのフードバンク利用(配布会を除く個人・団体)はのべ1,392件。前年同月までの比較で約1.27倍になっています。お渡しする食品も同様に増加しているため、現在食品が枯渇状態にあります。お近くのお店などでも食品寄付できます。ご家庭に賞味期限の残っている余剰食品がありましたら捨てずに寄付をお願いします。(牧岡)

市内のヨークベニマルで食品寄付ができます！

【寄付できる店舗】

- ・戸祭店・鶴田店・築瀬店
- ・泉が丘店・御幸ヶ原店

ご協力よろしく
お願いします。



F B ボランティア募集

●問 /028-622-0021

おきがるに ご連絡ください

・相談聞き取りボランティア★大募集
FBに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。

・パソコン入力ボランティア
食品の入庫・出庫伝票のデータをパソコンに打ち込みます。週1回程度。

・食品回収ボランティア スーパーや施設へきずなボックスの食品の回収のために車を運転します。月2~4回。

・食品管理ボランティア
入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1~2日、3時間位が目安。

「もったいない」を「ありがとう」に。 会員を大募集中！ ボランティアも！

◆会費(年間)

- ◎正会員 12,000円
- ◎賛助会員 3,000円
- ◎団体会員 30,000円
- ◎学生サポーター 1,000円

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義/特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや 理事徳山篤

※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや

■WEBサイトから

クレジットカードでの
ご寄付もできます。

